

# 女性の健康をたもつために。

検査や治療の遅れや知識不足のために問題が深刻化するのを防ぐために、ウェブサイトなどによって情報を提供し、女性にとって相談しにくい悩みの解決に取り組むことを通して女性が生き生きと健康に暮らすパートナーをめざしています。

## 女性のからだところに関する情報提供

思春期から妊娠・出産そしてやがて更年期・老年期へと、生涯のうちに何回も変化する女性のからだ。それに伴うところへの影響。女性特有の病気や症状については気軽に相談しにくく、密かに悩んでいる女性が少なくありません。

蓄積されたノウハウのもとづく情報発信  
ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会では、社団法人日本家族計画協会\*との協働により、ウェブサイトや携帯サイトによる女性のための情報提供を行っています。日本家族計画協会は、主に健康教育の指導者を通して活動を行ってきました。サイトの運営にあたっては、これまで蓄積してきた母子保健から中高年女性保健に至る豊富なノウハウを反映させ、一般の女性たちに直接情報を発信しています。幅広い年齢層からダイレクトに返ってくるさまざまな反応を吸収しながら、ジョンソン・エンド・ジョンソン、そして婦人科の専門家も交えて三者で話し合いを重ね、より親しみやすく役立つコンテンツづくりに取り組んでいます。

ウーマンズヘルスウェブ <http://jfpa.info/wh>  
一生の中でも生活やからだの変化が大きい主に20代～50代の女性に向けて、正しい知識・適切な情報を提供するためのインターネットの情報サイトです。ウェブサイトのコンテンツでは女性のからだに関する幅広いトピックスを取り上げ、随時更新しています。

女性特有の病気やからだに関する「かしこい患者学」「知っておきたい女性のからだ」「日常の予防」など、女性ならだれでも関心のある内容が盛りだくさんです。また、医師が質問に対して回答する「ドクター相談室」や自分のからだをチェックできる「健康チェック」などを用意しています。2005年度からは、食や運動の面から健康をサポートするコンテンツ「ヘルシーレシピ」「ヘルシーエクササイズ」がスタートしました。

ガールズナビ <http://girlsnavi.jp>  
若い女性、特に10代に向けて発信している携帯サイトです。読者の質問に婦人科医師が答えるコーナーや、避妊・妊娠などの情報提供を通して、女性たちの性や健康に対する意識を高めることを目的としています。一日のアクセス件数はおよそ7000件。多くの若い女性が、性やからだについて悩んでいることがうかがえます。

## Girls+ Navi



\*社団法人日本家族計画協会  
1954年設立。思春期保健、健康教育、性教育、母子保健、中高年女性保健などに関する教育・広報事業、また不妊相談や思春期保健などのクリニック、カウンセリングを中心に幅広い健康教育や啓発活動を行っている。